

令和元年度

事業報告書

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月 31日

公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

## 公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター 令和元年度事業活動報告

国が定めた「東日本大震災からの復興の基本方針」による復興期間が令和2年度までとなる中、当地域においては、三陸鉄道、三陸自動車道等の公共交通網の復旧・整備も完了し、まちづくりにおいても復興公営住宅の整備、自力再建の進行、また様々な公共施設がオープンするなど、復興の総仕上げに向けて着実に進展しており、更には、世界的なスポーツイベントであるラグビーワールドカップの開催により、当地域の復興状況を世界に発信できた歴史的な年でもありました。

しかし、昨年10月の台風19号の豪雨によりワールドカップの第二戦が中止となり、鉄道網が再度寸断されたほか、年度末には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、様々な経済活動が停滞したことで、多くの地域企業が厳しい経営状況に直面するなど、激動の1年となりました。

当センターにおいては、復興の総仕上げの段階を迎え、地域企業が相互に連携し、新たな市場を開拓しようとする取り組みや、より高い技術の課題解決に向けて、高度ものづくり推進事業、地域資源活用推進事業、海洋エネルギー関連産業創出事業を大きな柱として、地域が持続的に活性化する産業構造の形成に取り組んで参りました。

高度ものづくり推進事業においては、岩手大学ものづくりサテライトを活用することで、より高度な技術的支援を継続実施し、地域企業の高度化や企業連携による付加価値の向上が図られました。

地域資源活用推進事業については、専門家による継続的な指導により、地域資源ありきではなく、地域資源プラスアルファ消費者が何を必要としているかというユーザー視点に立った商品開発の大切さを参加企業に理解していただくことができました。

海洋再生可能エネルギー関連産業創出事業については、国の大型プロジェクトの申請は不採択となりましたが、再チャレンジしており、研究会の会員数増加、漁業関係者や地域住民協調関係の進行など、地域が一体となった事業化への機運も高まりつつあります。

現在でも新型コロナウイルス感染症拡大の影響は続いており、今後更に収束が長引けば、地元経済への影響は計り知れないものになることから、当センターにおいても、釜石市・大槌町及び関係機関と連携しながら、刻々と変化する地域企業の状況把握に努め、然るべきタイミングでの確かな支援を実行できるよう準備すると共に、引き続き、地域企業の基盤強化、地域経済の活性化に向け事業推進してまいります。

## 【 公 1 地域産業育成支援事業 】

### 1. 高度ものづくり産業推進事業（岩手県、釜石市補助事業）

決算額：18,388 千円（岩手県 1,769 千円、釜石市 16,619 千円）

#### 1 目 的

金属材料や複合材料等の先端素材について、関連機関等と連携した用途開発を行っていく。加えて、労働力を補うための省力化機械・装置（ロボット）について、その可能性を探っていく。加えて、製品開発の取組みや地域の特産品などを素材とする新商品開発については、ユーザーの課題解決につながる企業群の形成、地域の態勢づくりに取り組む。特に、ものづくり企業の技術課題については、岩手大学ものづくりサテライトと連携して進めている技術支援により、より高度な技術課題に取り組む事業分野の拡大に地域企業が取り組むよう加工技術の高度化を支援していく。

この、自らの力で市場におけるポジションを確立しようとする企業の取組み、また、地域企業が相互に連携して新たな市場を開拓しようとする取組みを着実に支援することにより、地域企業の経営基盤の強化と地域が持続・活性化する産業構造の形成及び雇用の創出・維持を目指す。

#### 2 実施内容

##### （1）省力化機械・装置開発支援

水産業・林業向け省力化機械・装置開発について、「①ニーズの聞き取り」・「②技術力向上を目的とした勉強会」・「③製品開発手法習得を目的とした勉強会」を行い、システム制御や機械設計などの開発力を持つ企業・大学等と連携し、技術高度化に繋がる指導・研修を実施し開発案件のテーマアップを行った。また、その他の業種についても、省力化・省人化をテーマとして、企業視察会のほか個別指導を行った。

##### ①ニーズの聞き取り

水産業・林業の現場もしくは関係者を訪問又は招聘し、現状と作業におけるニーズや課題の聞き取り調査を実施。

|          |   |
|----------|---|
| 開催結果（全体） | 3回開催 計49名参加   |
| 講師       | 岩手大学理工学部 教授 大西弘志 氏<br>釜石地方森林組合 参事 高橋幸男 氏、<br>岩手大学三陸復興・地域創生推進機構釜石サテライト |

|       |  |
|-------|--|
|       | 釜石リージョナルコーディネータ（釜援隊） 齋藤孝信 氏<br>漁業者 ほか  |
| 各回の演題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回 R1. 8. 7（水）開催<br/>（釜石地域における林業の現状、現在活用されている林業機械、工具等について）</li> <li>・ 第2回 R1. 10. 10（木）開催<br/>（地域漁業関係者の課題ニーズについて）</li> <li>・ 第3回 R2. 1. 9（木）開催<br/>（水産業におけるFRPの活用について ほか）</li> </ul> |

## ②技術力向上を目的とした勉強会

AI、IoT、制御技術、塩水対策等の機械開発に必要となる技術的な勉強会のほか、先進企業による事例紹介、視察勉強会や個別指導を実施。

|          |  |
|----------|--|
| 開催結果（全体） | 5回開催 計97名参加  |
| 講師       | 炎重工（株） 代表取締役 古澤洋将 氏<br>和同産業（株） 常務取締役 三國卓郎 氏<br>日経BP総研 上席研究員リアル開発会議編集長 中道理氏<br>（有）エーエムクリエーション 代表取締役 松田篤志 氏<br>ほか  |
| 各回の演題    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回 R1. 7. 31（水）開催<br/>（船舶ロボットの安全技術について）</li> <li>・ 第2回 R1. 9. 10（火）開催<br/>（ロボット草刈機の開発プロセスについて、他分野での省力化機械事例と企業連携のコツについて ほか）</li> <li>・ 第3回 R1. 11. 21（木）～22（金）開催<br/>（先進地視察研修：福島県会津若松市：機械装置製造現場並びにIoT・AI・ロボット等を活用した産学連携機関の見学）</li> <li>・ 第4回 R1. 12. 9（月）開催<br/>（先進地視察研修：花巻市：機械装置製造・金型部品及び半導体製造装置部品加工現場の見学）</li> <li>・ 個別指導 R2. 3. 24（火）～25（水）開催<br/>（同和鍛造株式会社釜石事業所、株式会社ムライマシンウェルディング、株式会社エイワ）</li> </ul> |

③製品開発（試作）を目的とした勉強会

省力化機械開発について、その製品化までの手法（企画・設計・試作等）を習得するための勉強会を実施。

|          |  |
|----------|--|
| 開催結果（全体） | 3回開催 計46名参加  |
| 講師       | 岩手大学理工学部 准教授 三好 扶 氏  |
| 各回の演題    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 R1.12.26（木）開催<br/>（ロボティクスソリューションについて）</li> <li>・第2回 R2.1.23（木）開催<br/>（岩手県内における磯焼けの現状、磯焼け対策としての海底作業ロボットについて ほか）</li> <li>・第3回 R2.2.21（金）開催<br/>（プロジェクトマネジメント実践編、水中作業ロボットの仕様策定、定置網監視について）</li> </ul>   |
| 製品試作     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品試作：省力化装置（水中作業ロボット）製作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動機構原案試作（キャタピラ駆動）</li> <li>・ウニ捕獲用ハンド原案試作</li> </ul> </li> <li>・製作業務：岩手大学（理工学部 准教授 三好扶氏）<br/>開発勉強会にて、試作テーマとして挙げた「磯焼け対策による水中作業の軽減（省力化）」について、勉強会にて、受講企業より出た製品企画図やテーマや要望に沿った装置製作を岩手大学に依頼し、製作工程やその意図、塩水対策など技術的な面について、受講企業にフィードバック（指導）することで、参加企業における開発力の強化を図った。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>（移動機構部分）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>（ハンド部分：水中での稼働）</p> </div> </div> |

なお、省力化装置、機械装置開発に係る報告会を3月下旬に予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止、書面での報告となった。

## (2) 先端材料開発・活用支援

FRP（繊維強化プラスチック）やCNF（セルロースナノファイバー）などの素材について、岩手大学ものづくりサテライトのほか、森林総合研究所及び三井物産などの連携体制により、用途開発のための勉強会・意見交換会を実施した。

### ①GFRP 素材を活用した製品化

GFRP 素材を活用した製品化は、昨年度、GFRP 製の高台避難階段は試作し、今年度はその避難階段の取付に着手。設置場所は「沿岸部で周辺に通路や避難階段等がない場所」、「通常時も使用される場所」等を念頭に検討し、実際に津波の被害を受けた地元スーパー駐車場に設置した。



(GFRP 製の高台避難階段)

この技術や素材特性を生かし、水産業における FRP の活用について、専門家や関係者との意見交換をし、漁業現場（はしごなど）への新用途について情報交換を行った。

|          |  |
|----------|--|
| 開催結果（全体） | 2回開催   |
| 講師       | 岩手大学理工学部 教授 大西弘志 氏   |
| 各回の演題    | ・第1回 R1.9.12（木）開催<br>（GFRP製の高台避難階段 設置）<br>・第2回 R2.1.9（木）開催<br>（社会基盤におけるFRPの用途について、水産業におけるFRPの活用について） |

## ②CNF を活用した地域分散型・適量生産システムの構築

当地域における新産業の創出を図ることを目的に、「セルロースナノファイバー（CNF）を活用した地域分散型・適量生産システムの構築」をテーマとして、森林総合研究所及び三井物産との連携体制により勉強会を開催した。

CNFは、木材から得られる木材繊維を微細化したバイオマス素材であり、「軽くて強い」、「環境にやさしいバイオマス素材」などの特性により、自動車部品や化粧品や食品、塗料など幅広い分野で活用されており、当地域における新産業創出に向けて、次年度も引き続き、情報交換・意見交換を行う予定である。

|          |   |
|----------|---|
| 開催結果（全体） | 2回開催  |
| 各回の演題    | ・第1回 R1.5.16（木）開催<br>・第2回 R2.2.19（水）開催<br>（セルロースナノファイバー（CNF）を活用した地域分散型・適量生産システムの構築について） |

## （3）金属加工における技術の高度化（難削材加工技術等支援）

地域中小企業が行度加工、測定、及び製品開発における設計等について、その技術課題を克服するため、岩手大学ものづくりサテライト設置機材を活用し、加工支援など技術指導を行ったほか、金型製作、溶接、加工相談、加工情報・外注先相談、機器導入支援等の相談に対し、個別指導及び情報提供を行った。また、地域の企業や高校生向けのセミナー等を実施した。

### ①技術相談・技術指導の対応

45件（25社）

### ②技術相談会の実施

9回（平成31年4月～令和元年12月）

### ③企業訪問調査の実施

48件（41社）

### ④研究会などへの参加

研究会等 46件

### ⑤地域における産学共同研究の推進

2件

- ・ G F R P 製高台避難階段開発支援（昨年度からの継続支援）
- ・ 木工製品製作における加工手法支援

⑥人材育成の実施

- ・ 3D-CAD技術講習会 3件
- ・ 高校生向け指導 1件（釜石・大槌地域産業フェア）

（4）新製品・新用途開発（試作）支援

ラグビーワールドカップや三陸鉄道全線開通などで当地を訪れる観光客を対象としたお土産品開発の支援を行ったほか、釜石・大槌地域を中心とした企業等の連携により、地域資源である木材と鉄の掛け合わせによる製品（ベンチ）を製作を行った。

①お土産開発（ラグビーけん玉、ストラップ：株式会社ササキプラスチック）

②製品試作（木・鉄を活用した釜石オリジナルのベンチ：THE KAMAISHI）



（ラグビーけん玉）



（木札：ストラップ）



（木・鉄を活用した釜石オリジナルのベンチ：試作品）

### 3 結果

#### 【成果目標／指標及び事業実績】

- 1 省力化装置、機械開発案件（プロジェクト）のテーマアップ 2件 →**2件**
  - ・ 磯焼け対策による水中作業の軽減（省力化）
  - ・ 定置網洗浄作業の軽減（省力化）
- 2 先端材料の用途開発事例 2件 →**1件**
  - ・ GFRPによる活用した用途開発
- 3 ものづくり企業の技術課題の解決 5社 →**5社**
  - ・ 5軸マシニング、ワイヤー放電加工を活用した金属加工指導
  - ・ 三次元計測機を活用した計測技術指導
  - ・ 製品開発における図面（3Dデータ）作成支援
  - ・ 製品開発支援（2社）

#### 2. 地域資源活用推進事業（釜石市補助事業）

決算額：1,400千円（釜石市1,400千円）

#### 1 目的

地域資源の特産化・高付加価値化に向けた取り組みや、ヒット商品を企画・開発するためのプログラムを実施し、地域企業の基盤強化や競争力強化を図ることにより、地域食産業活性化の推進を図る。

#### 2 実施内容

##### (1) ヒット商品開発プログラム

本プログラムは、公募により選定したモデル事業者2社を対象に、キックオフセミナーやワークショップを行い、商品化・ブランド化に必要な戦略・手法・考え方などを理解することと共に、商品の企画・開発から販売促進案の計画策定までのプロセスを実際に体験し、新商品の開発に必要な知識やアクションの習得・定着化を図ることを目的として実施した。併せて、昨年度モデル事業者のフォローアップも継続し、商品化に向けた支援を行った。

| 前年度モデル事業者  | テーマ        | 経過  |
|------------|------------|---|
| (有)ヤマキイチ商店 | 個包装加工食品の開発 | 講師よりブランディング再構築を先行すべきとの指導があり、個別契約を結び事業を継続推進中 |

|            |                  |  |
|------------|------------------|--|
| 山崎清三商店     | 南部鉄器を使った珈琲ギフトの開発 | 南部鉄器の仕様に関する調査に時間を要し期間中の商品化には至らず<br>継続フォローアップする   |
| 当年度モデル事業者  | テーマ              | 結果   |
| 津田商店（株）    | 新商品（缶詰）の開発       | 新商品企画立案<br>商品化に向け継続フォローアップする   |
| (株)かまいしDMC | 「うにしゃぶ」の開発       | R2. 3. 30 試作品発表会開催<br>R2. 6 月発売予定<br>・価格は 5,800 円を予定<br> |

#### ①オープンセミナー・ワークショップ

全国に向けて売り出せる“ヒット商品”を企画・開発するために必要なUX視点(ユーザーエクスペリエンス)を理解してもらうためのセミナーを開催した他、モデル事業者を対象に全3回のワークショップを実施。

|      |  |
|------|--|
| 開催結果 | 3回開催 計26人  |
| 講師   | (株) ルグラン代表取締役 共同CEO 泉浩人氏(全回)<br>〃 代表取締役 共同CEO 山辺仁美氏(第1回)   |
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回セミナー・ワークショップ R1. 11. 1(金) 開催<br/>(ユーザーエクスペリエンスとデコンストラクションについて)</li> <li>・第2回ワークショップ R2. 1. 24(火) 開催<br/>(エクスペリエンスマップの作成、ペルソナ設計・SWOT分析について)</li> <li>・第3回ワークショップ R2. 1. 21(月). 22(火)<br/>※リモート開催<br/>(最終プラン発表、プロモーションについて、総括)</li> </ul> |

#### (2) 地域資源活用普及事業

地域の貴重な資源である“菊芋”の利用普及や高付加価値化に向けた取り組みを行ったほか、その他の地域資源を活用した新商品の開発などに取り組んだ。

「改良はまゆり酵母」の利用促進に関しては、岩手大学、北里大学、釜石市間での権利化の手続きを調整、次年度から利用できる体制構築を目指す。

①菊芋の利用普及・高付加価値化

- ・菊芋の利用拡大に向け、市内飲食店や加工事業者へ菊芋を配布（50kg）。
- ・地元事業者が新商品「菊芋パウンドケーキ」の試作及び試験販売を実施。
- ・菊芋の販売・加工事業者への設備の貸出

かまいしワークステーション：乾燥機1台

橋野地区直販組合：乾燥機1台、食品スライサー1台

| 商品名   | 事業者            | 値段・販売場所等  | 販売実績 |
|---|----------------|---|------|
| 「菊芋パウンドケーキ」<br> | かまいしワーク・ステーション | 試験販売を実施<br>・税込1,000円<br><参加イベント><br>・農福マルシェ in 盛岡駅<br>・ふれあいマルシェ with 盛岡峰南支援学校（アイーナ） | 約30個 |

②その他の商品開発支援

沿岸広域振興局水産部と連携し、地域の水産資源を使った新商品の開発支援に取り組み、地元産ホヤを原料にした缶詰「ほやバル」が商品化され販売開始となった。

| 商品名   | 事業者     | 値段・販売場所等  | 販売実績   |
|---|---------|---|--------|
| 「ほやバル」<br> | (株)津田商店 | H31.8 発売開始<br>・税込500円<br><販売場所><br>・道の駅釜石仙人峠<br>・かまいし特産店<br>・うのすまいとモス | 7,800個 |

### 3 結果

【成果目標／指標及び事業実績】

- 1 ヒット商品の開発 2件 →1件
  - ・(株)かまいしDMC「うにしゃぶ」
- 2 その他商品化・実用化・利用普及に向けた支援 1件 →2件
  - ・かまいしワーク・ステーション「菊芋パウンドケーキ」
  - ・(株)津田商店「ほやバル」

### 3. 海洋エネルギー関連産業創出事業（釜石市補助事業）

決算額：2,689千円（釜石市2,689千円）

#### 1 目的

岩手県海洋エネルギー産業化研究会を運営し、地場企業が海洋エネルギー産業へ参入する機会を促進し、研究開発や事業化を進めながら、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。

#### 2 実施内容

##### (1) コーディネーターの配置

研究会活動をコーディネートする専門職員として、海洋エネルギー産業化コーディネーターを配置した。

##### (2) 海洋エネルギー産業化研究会の開催及び情報発信

海洋エネルギーに関する最新動向や専門家からの研究開発状況等の講演により地域企業の機運醸成と会員相互の交流促進を図るべく、下記のとおり開催した。また、専用ホームページにて研究会の開催状況等、情報発信した。

| 開催日           | 開催概要   |
|---------------|--|
| R1. 11. 13（水） | 「定期総会・第1回産業化研究会」<br>会 場：釜石ベイシティホテル<br>参加者：38名<br>内 容：<br>【定期総会】 事業報告及び事業計画、役員改選<br>【講演会】<br>①海洋再生可能エネルギー<br>～国内外の最新情報と日本の採るべき方向性～<br>講師：東京大学 名誉教授 荒川忠一 氏<br>②岩手の海洋エネルギーと持続可能な地域経済循環<br>講師：東京大学先端科学技術研究センター<br>特任研究員 谷口信雄 氏<br>③大洗港で実証した沿岸型波力発電について<br>講師：株式会社三井E&S 鉄構エンジニアリング<br>沿岸設計部長 中野訓雄 氏<br>④パネルディスカッション<br>釜石沖海洋再生エネルギー実証フィールドの利活用<br>について<br>・コーディネーター 谷口信雄氏<br>・パネラー 荒川忠一氏、泉修一氏、平松福壽氏 |

|             |   |
|-------------|---|
| R2.2.14 (金) | <p>「第2回産業化講演会」<br/> ※「岩手県海洋エネルギーシンポジウム」と共催<br/> 会 場：釜石ベイシティホテル<br/> 参加者：36名<br/> 内 容：<br/> 【講演会】<br/> ①海洋エネルギー利用と沖合養殖の協調に関する試み<br/> 講師：東京大学生産技術研究所<br/> 特任助教 李僑 氏<br/> ②長崎海洋産業クラスター協議会の取組概要と人材育成事業について<br/> 講師：NPO 法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会<br/> 事業コーディネーター 松尾博志 氏<br/> ③海洋再生可能エネルギー実証フィールドにおける取組経緯と課題<br/> 講師：(公財) 釜石・大槌地域産業育成センター<br/> 専務理事 小笠原順一<br/> ④海洋エネルギー関連産業創出ビジネスの今後について<br/> 講師：岩手県 科学・情報政策室<br/> 科学技術課長 阿部博 氏</p> |
|-------------|---|

### (3) 意見交換会・事業化検討会の開催

漁業関係者のニーズ把握や漁業協調を図る開発案件の絞込みを目的に研究会メンバー、漁業関係者により会議を開催した。

- ①漁協訪問による意見交換の実施 (計4回)
- ②省力化機械装置開発勉強会の実施 (計3回：高度ものづくり事業との連動)
- ③新たな研究開発プロジェクトの発掘・選定～公募事業への申請

東京大学先端技術研究センター(飯田研究室)が研究開発を実施している「ブローホール式波力発電システム」に着目し、これを当地域で実証試験等行うべく、新たな研究開発テーマとして選定し、研究会役員を中心メンバーとした検討会を繰り返すとともに、環境省が公募する委託事業に申請した。

(1回目の申請は不採択。令和2年1月に事業計画を再構築し申請。

※令和2年7月に審査会予定。)

### (4) その他

高校生及び地域住民等への理解促進を図るべく、以下を実施した。

- ①イオンタウン釜石イベントでのパネル出展

- ②釜石高校 SSH にて海エネ事業の講演
- ③釜石商工 1 年生（全員）に対して海エネ事業の講演
- ④小学館編集者への海エネ事業説明により、少年サンデー「第九の波濤」に掲載

### 3 結果

#### 【成果目標／指標及び実績】

- 1 産業化研究会会員の増加 5 社 → **2 社**
  - ・「海洋エネルギー産業化研究会」（R2.3 月現在）
  - 会員数：52 社（企業 36、大学・公設試 5、行政 7、商工団体・支援機関 4）
- 2 地産地消システム、デバイスの開発 1 件 → **0 件**
  - ・開発費の外部資金獲得できず実績なし。
- 3 漁業関係者との協調及び地域住民の理解促進を図る → **図られた**
  - ・漁業協調に資する、課題解決につながる多くの情報が得られた。また高校生に対する講演やイオンタウン釜石イベントにより理解促進は図られた。
- 4 実証フィールドを活用する大規模プロジェクトの獲得 1 件 → **0 件**
  - ・釜石沖海洋再生可能エネルギー実証フィールドの利活用に繋がる国の大型プロジェクトへ申請するに至った。（不採択から再チャレンジ継続中）

#### 4. 情報提供事業

当センターホームページ及びフェイスブック・電子メール等を活用し、当センター主催または関係機関が主催するセミナーの開催情報や国・県・市町村等の支援情報や補助金・助成金の公募に関する情報等を随時提供した。

その他、当センター 1 階及び 2 階ロビーにて、地域企業等の製品展示を行い、製品及び技術紹介を行った。

##### ・実施内容

- (1) インターネットを活用した情報発信
  - ・当センターホームページ、フェイスブック、電子メールにより、セミナー情報、補助金情報、会員企業情報等、延べ 59 件を情報提供した。
- (2) 製品展示
  - ・ 1 階、2 階各ロビー（地域企業の製品、RWC 向けお土産品等）
  - ・ 東大阪市モビオ（地域企業製品及び海洋エネルギー事業の PR）

## 5. 特許関連

地域中小企業者等が産業財産権（特許・実用新案・商標・意匠）の出願の検討に対する協力・支援を目的に、先願の検索調査や出願手続き等の相談対応の他、岩手県発明協会との共催により、当センターを会場に下記事業を開催した。

### ・実施内容

『知財専門家による相談会』

| 回数  | 開催日           | 相談件数 |
|-----|---------------|------|
| 第1回 | R1. 5. 23（水）  | 2件   |
| 第2回 | R1. 8. 28（水）  | 2件   |
| 第3回 | R1. 11. 27（水） | 2件   |
| 第4回 | R2. 2. 26（水）  | 1件   |

## 6. 交流・人材育成事業

地域における企業間・産学官の連携・交流を促進し、新規事業の創出や新たな取引の拡大等を図るため、地域中小企業者や大学、公設試験研究機関、行政及び関係機関を対象に開催した。

### ・実施内容

(1) 「半導体基礎セミナー」の開催

岩手大学生産技術研究センターの協力を頂き、半導体産業について理解を深めることと、将来の半導体産業を支える人財を育成することを目的に、「半導体基礎セミナー」を開催した。

| 開催日                    | 内 容   |
|------------------------|---|
| R2. 2. 12(水)、<br>19(水) | 場 所：産業育成センター 大会議室<br>参加者：18名<br>講 師：岩手大学 生産技術研究センター<br>特任教授 佐藤秀隆 氏<br>内 容：(1回目) 半導体入門編<br>半導体を変える超スマート社会（ Society 5.0 ）<br>と将来展望<br>半導体の基礎<br>身近な電気製品における半導体の使われ方 |

|  |   |
|--|---|
|  | (2回目) 半導体実践編<br>電子制御 センシング・伝送 (IoT) ・知能処理<br>(AI) ・フィードバック) の基礎<br>空気の酸素濃度測定装置の製作 |
|--|---|

(2) 釜石・大槌地域産業フェア

地域中小企業の技術や取り組みを、市内高校生等に広く理解してもらうことを目的として、地域中小企業が有する技術や商品を展示する、「釜石・大槌地域産業フェア」を開催した。

| 開催日         | 内 容  |
|-------------|--|
| R1.12.6 (金) | <p>「令和元年度釜石・大槌地域産業フェア」</p> <p>会場：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加者（高校生）：釜石商工高等学校1年（93名）</p> <p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釜石・大槌地域産業育成センター概要等</li> <li>・育成センター内入居の各大学及び地域内企業より、技術・製品等の紹介（見学） <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域企業展示場見学（18社）</li> <li>②岩手大学三陸水産研究センター</li> <li>③岩手大学釜石ものづくりサテライト</li> <li>④岩手県立大学</li> </ul> </li> <li>・地域内企業より、ものづくりに関する講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>①（株）グランバー釜石工場</li> <li>②（株）アジテック・ファインフーズ</li> <li>③釜石における海洋エネルギー産業化の取り組み紹介</li> </ul> </li> </ul> |

**7. その他、復興支援等の地域企業支援関連**

地域中小企業が新規事業等に取り組む際の協力・支援を目的として、国・県・市等の各種補助金制度の活用を勧め、その申請に係る申請書作成等の作成支援及び採否の結果によりフォローアップを行った。

また、様々な経営課題に対し、相談窓口として対応し、必要に応じて専門家派遣事業を活用し支援を行った。

**【支援内容】**

(1) 補助金申請支援

| 補助事業名        | 対象企業          | 分野等    |
|--------------|---------------|--------|
| グループ補助金      | (有) 西円タクシー    | 新分野    |
| ものづくり補助金     | 松草塗装(株)       | 工期短縮化  |
|              | (株) 川喜        | 新商品開発  |
|              | (株) グランバー釜石工場 | 新商品開発  |
| いわて希望応援ファンド  | (株) 釜石鉱山      | 販路開拓   |
|              | (有) ヤマキイチ商店   | 新商品開発  |
| さんりく基金       | (株) ササキプラスチック | 新商品開発  |
| 事業復興型雇用確保助成金 | (株) 雁部冷蔵      | 従業員の雇用 |

(2) 専門家派遣 (ミラサゴ専門家派遣)

| 対象企業          | 案件          | 専門家                        | 回数 |
|---------------|-------------|----------------------------|----|
| (株) ハートブリッジ   | 働き方改革       | (株) 北上オフィスプラザ<br>鈴木功 氏     | 3回 |
| (株) プラネックス    | プライバシーマーク取得 | 行政書士プライバシー法務事務所 大久保有二郎 氏   | 3回 |
| (株) かまいしDMC   | イベント開催      | カメラのトモミ堂<br>田原剛 氏          | 2回 |
| 釜石ヒカリフーズ(株)   | 水産業6次化      | (一社) 新興事業創出機構(JEBDA) 鷹野秀征氏 | 2回 |
| 同和鍛造(株) 釜石事業所 | 新事業展開       | (一財) 土木研究センター<br>安藤和彦 氏    | 1回 |
| (有) あべや       | 店舗統合        | (株) 北上オフィスプラザ<br>鈴木功 氏     | 3回 |

## 【 収 1 貸館事業 】

### 1. 貸館事業

地域中小企業の基盤強化や人材育成及び震災復興関連等、地域の産業再生や地域の活性化による公益の増進に資する利用者に対し、低廉な金額で財団の施設を貸し出すもの。

#### 【事業内容】

- ・会議室（大会議室・中会議室）の有料貸出
- ・コミュニケーションスペースをシェアードオフィスとして有料貸出

#### 【令和元年度実績】

##### （1）大・中会議室の貸出

延べ 99 団体、収入額 1,077,950 円

（H30：88 団体、949,050 円、前年対比：113% 128,900 円増額）

##### （2）シェアードオフィスの貸出

3 団体：＜月額（税込）：5,400 円／社＞

| No | 企 業 ・ 団 体 名  | 備 考 (業 種)  |
|----|--------------|------------|
| 1  | (株)原川土木      | 建設業        |
| 2  | (一社)三陸ユナイテッド | 旅行代理店      |
| 3  | かまいし水産振興企業組合 | 鮮魚出荷、レストラン |

##### （3）研究室等貸出事業

- ・第 1 研究開発室：岩手大学
- ・小会議室：岩手県立大学、(株)小原建設 釜石営業所

### 2. 事務代行事業

釜石地方森林組合が実施する「釜石・大槌パークレイズ 林業スクール」の資金と財務の管理を受託し、同スクールの円滑な運営に寄与した。

本年度で資金管理業務は終了。

・令和元年度事業費：3,111,764 円

・令和元年度受講生：20 名

（1 期～5 期までの通算受講生：115 名）

## 【 その他 】

### 1. 会議関係

(1) 理事会の開催 4回 (定例2回、臨時2回)

| 名 称   | 開催日         | 主な議題             |
|-------|-------------|------------------|
| 第1回定例 | R1.6.6 (木)  | 平成30年度事業報告及び決算報告 |
| 第1回臨時 | R1.7.23 (火) | 理事長、副理事長、専務理事の選定 |
| 第2回臨時 | R2.1.6 (月)  | 副理事長の選定          |
| 第2回定例 | R2.3.27 (金) | 令和2年度事業計画及び収支予算  |

(2) 評議員会の開催 3回 (定時1回、決議の省略2回)

| 名 称   | 開催日         | 主な議題             |
|-------|-------------|------------------|
| 第1回定時 | R1.6.25 (火) | 平成30年度決算報告       |
| 第1回臨時 | R2.1.8 (水)  | 理事の選任 (書面決議)     |
| 第2回臨時 | R2.3.24 (火) | 評議員、理事の選任 (書面決議) |

(3) 監事会の開催 1回

| 名 称  | 開催日         | 監査対象       |
|------|-------------|------------|
| 監事監査 | R1.5.30 (木) | 平成30年度決算監査 |

### 2. 一般管理業務

- ・センター運営、会館の管理
- ・賛助会員入会の案内、勧誘
- ・会館施設利用のPR